

氏名	吉村 基宜	部署	看護学科	職名	助教
研究分野	基礎看護学				
学位	修士（看護学）				
学歴	2006-2010年 埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科 2015-2018年 埼玉県立大学大学院看護学研究科博士前期課程				
経歴	2010-2015年 東京都済生会中央病院 2016年- 埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科助教				
所属学会（役職）	日本看護科学学会、日本看護学教育学会、日本保健医療福祉連携教育学会、 埼玉県立大学保健医療福祉科学学会、日本在宅看護学会、日本パラスポーツ看護学会				

【2025年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作(著書及びその他の著作物)						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	埼玉県立大学奨励研究A研究 埼玉県立大学が地域の子どもに開く「からだプログラム」の開発	共著	埼玉県立大学奨励研究発表会		○吉村基宜、高橋恵子、田村佳士枝、浅井宏美、山田牧子、望月浩江、日野さち恵、添田啓子、平田美佳	2026年2月
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	該当なし					
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	看護方法Ⅱ	○	5	看護における「活動と休息」「食」「排泄」に関する講義を行った。		
2	ヒューマンケア論		2	多職種連携「チームについて考える」をテーマに講義を行った。		
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	看護方法Ⅰ		16	科目担当者として、運営案の検討、演習における指導や物品準備・片付け等の運営補助を行った。 1年生を対象としているため、初学者にとって分かりやすい指導に努めた。		
2	看護方法Ⅱ	○	11	科目責任者として、授業案の作成・運営・講義・演習を行った。 学生が主体的に学びが深められるよう、グループ学習を通して、多様な視点から看護技術の根拠や留意点について考えられるような関わりを行った。		
3	看護方法Ⅲ		12	科目担当者として、科目における物品準備・片付け・演習時の学生指導等の運営補助を行った。		

4	看護方法Ⅳ		10	科目担当者として、科目における物品準備・片付け・演習時の学生指導等の運営補助を行った。
5	看護過程論		16	科目担当者として、グループワークにおける指導の運営補助を行った。看護を展開する上で、科学的に捉えることを意識するよう関わった。

(3) 実習

	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ヒューマンケア体験実習		【学外実習】 2025.9.19～9.26 【学内実習】 6コマ	1年次生を対象に、実習指導および実習先との調整を行った。また、学内実習においてはグループワークを通して、コミュニケーションやグループ活動、保健医療福祉への関心、多様性についての指導を行った。
2	基礎看護学実習Ⅰ		【学外実習】 2026.2.16～2.19 【学内実習】 6コマ	1年次生を対象に、実習指導を行った。療養環境（患者）と看護活動（看護師）の視点から、看護を捉えられるよう指導を行った。また、初めての臨地実習であるため、精神的フォローと安全に実習が行えるよう留意した。
3	基礎看護学実習Ⅱ		【学外実習】 <1クール目> 2025.9.30～10.9 <2クール目> 2025.10.14～ 10.23 【学内実習】 15コマ	2年次生を対象に、実習指導を行った。科目責任者と共に運営案の検討や、事前準備等を行った。初めての受け持ち看護実習として、系統的に看護過程が実践できるよう指導を行った。主体的に実習に臨めるよう、カンファレンスを通してグループダイナミクスが効果的に発揮できるような関わりを意識した。
4	総合実習		【学外実習】 2025.7.8～7.18 【学内実習】 20コマ	4年次生を対象に、事前学習（学内実習）・事後学習（学習成果発表会）を含めた実習指導を行った。また、実習施設窓口として、実習先との調整も行った。これまで学んできた知識と技術を統合させ、自らの課題を主体的に学べるよう指導を行った。

(4) 論文指導

	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数		
1	卒業論文	2025.4～2025.12	主指導	2名	副指導 名

(5) その他

	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	越谷市立病院看護研究査読	2025.6/16,9/18, 11/17,12/13, 12/15	6部署

4. 社会貢献活動

(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師

	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	専門職連携を学ぶ講座	埼玉県立大学	「チームビルディング研修」	2025.5
2	日本パラスポーツ看護学会 2025年度 第1回研修会	日本パラスポーツ看護学会	聴覚障害者から学ぶコミュニケーション～デフリンピックを知る～	2025.5
3	公開講座	埼玉県立大学	「からだ」のおはなし会	2025.8
4	高校出張講座	埼玉県立春日部東高等学校	看護学入門～看護って何だろう～	2025.11
5	高校出張講座	埼玉県立川口高等学校	看護学入門～看護って何だろう～	2025.12

6	IPW（多職種連携）ワークショップ（緩和ケアIPW研修会）	彩の国連携力育成プロジェクト（SAIPE）+埼玉県職能団体（Sai_UPPs）	より良い緩和ケアIPWの方法やあり方の検討 - より実践的な多職種連携の教材作成-	2025.12
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	日本パラスポーツ看護学会	理事（研修担当、調査担当）	2024.6.22~2026.6.30	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	彩の国連携力育成プロジェクト（埼玉県立大学・城西大学・埼玉医科大学・日本工業大学・埼玉県）	「リレー・フォー・ライフジャパン川越」の企画・運営・学生サポート担当。 4大学チームとして、がん征圧に向けたチャリティーイベントに参加。HPVワクチンの情報提供やがんの予防・対応に関するクイズ・すごろく、がん患者さんに向けたメッセージの発信などを行った。	2025年9月27-28日
2	地域貢献活動	彩の国連携力育成プロジェクト（埼玉県立大学・城西大学・埼玉医科大学・日本工業大学・埼玉県）	「IPW 演習（緩和医療学）」のファシリテーター担当。 4大学合同によるIPW演習。緩和医療をテーマに4大学混成チームにて、模擬事例についてグループディスカッションを実施。メンバー間で連携し、模擬患者へのインタビューも通しながら、よりよいケアプランを考える演習を行った。	2025年12月5日
5. 学内運営				
	項目	内容	期間	
1	全学的委員会及びセンター業務等	専門職連携教育研修センター所員	2025.4~	
2	全学的委員会及びセンター業務等	彩の国連携力育成プロジェクト(大学間連携運営連絡会議)	2025.4~	
3	学科等における委員会等	実習計画調整会	2025.4~	
4	学科等における委員会等	春日部市立医療センター基礎看護学領域実習窓口担当	2025.4~	
5	大学広報活動	オープンキャンパス学生相談担当	2025.8.3	
6	学生支援	男子バスケットボール部顧問	2025.4~	
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	立位姿勢介助具（住宅トイレ補助具）	意匠番号：第1806104号 意願2024-023737	2025.8.14	
8. 特記事項				
1	該当なし			